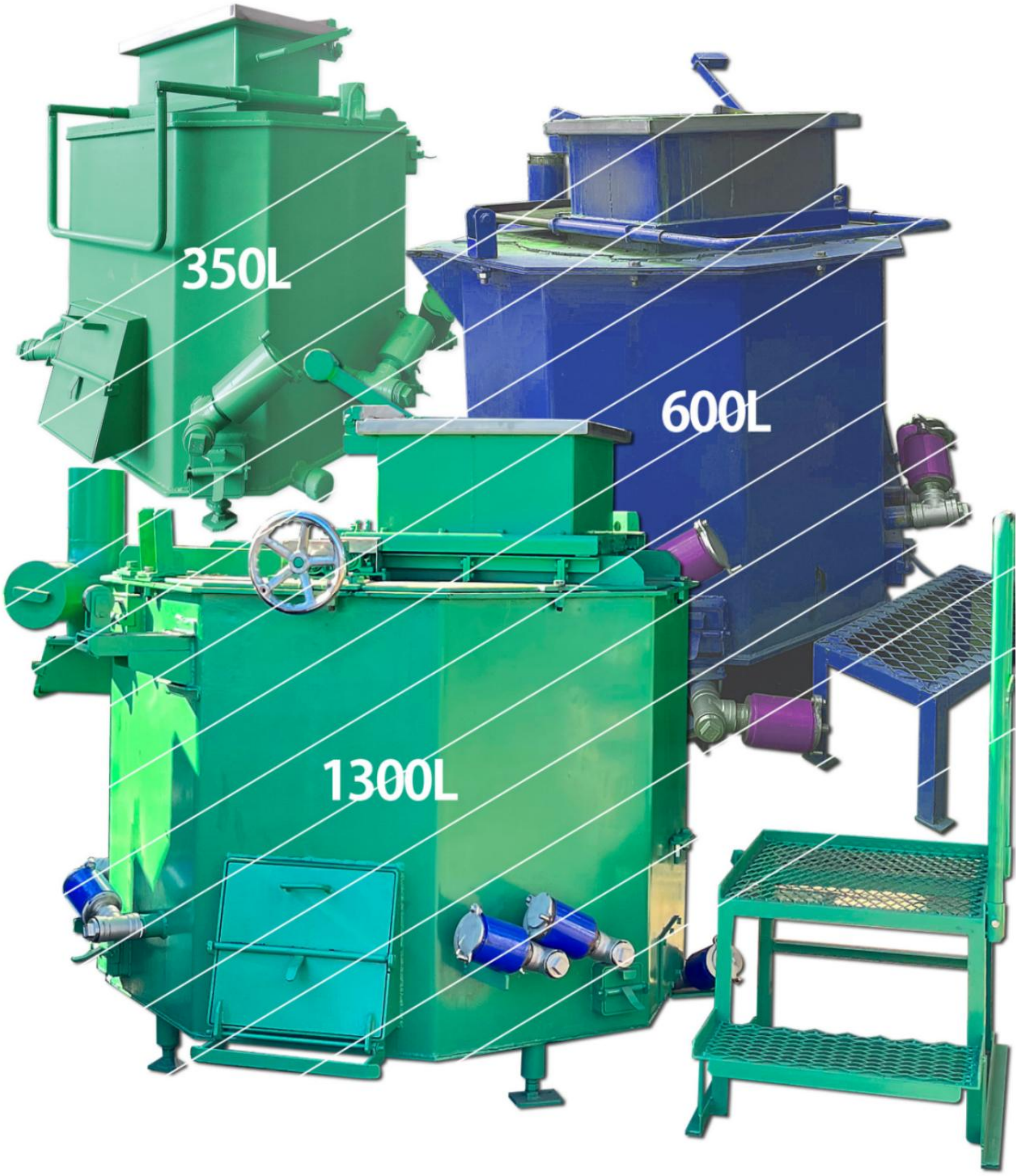


Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

焼却炉との違い

燃焼データによりますと燃焼は酸素濃度 16%で急速に衰え 15%で完全に消失しま す。また、酸素濃度が 16%以上でも不完全燃焼により黒煙など有毒ガスが発生し ます。
そのため、一般焼却炉では排気ガスの再燃焼をしなければなりません。また、多量の燃料を使用するため、多額な費用と多量の炭酸ガスを排出する事になります。
当 W-MTD は電気や燃料は必要なく、焼却炉では無いため、海抜実験で酸素濃度 11.13%（海抜 5,000m）でも稼動します。排煙量は実に少なく炉の 10%以下で殆どが水蒸気です。
特に 1300L モデルは運転が安定すると空気は殆ど不必要なため空気取入れ磁気ノズルは全閉し、この状態で処理物により多少の差はありますが、順調に稼動します。

磁気熱発生理論について

磁気熱発生理論は 1933 年、シュレーディンガーと共にノーベル物理学賞を受賞したポール・ディラック博士がモノポールおよびゼロポイントエネルギー理論を発表しました。この理論は難解すぎて、当時の物理学会は無視しましたが近 年になって、ようやくほんの一部ではありますが、知られてきました。この理論などを元にして磁気熱分解装置は生まれました。

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

今までのゴミ処理

有機物ゴミは生活していく上で、あらゆる場面で必ず出てきます。その有機物ゴミをどのようにして、無くすかが問題です。

無くす方法は！

1，ゴミを出さない。

2，燃やす。

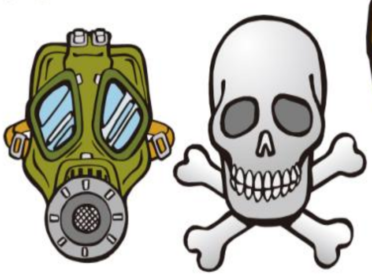
3，埋め立てる。

リサイクルできる有機物ゴミも限られます。リサイクルは無くすのではなく、際限なく残ります。あなたなら、どの方法を選びますか？

「1」は現時点で絶対無理です。「2」と「3」、どれを選んでも、排ガス、埋立場所など大きな問題が残ります。

現在、対応が長引いています

ゴミ処理問題の解決方法を誤れば人々の生活は壊れ、地球環境にも多大な影響が出る事になります。もう既に問題は出始めています。



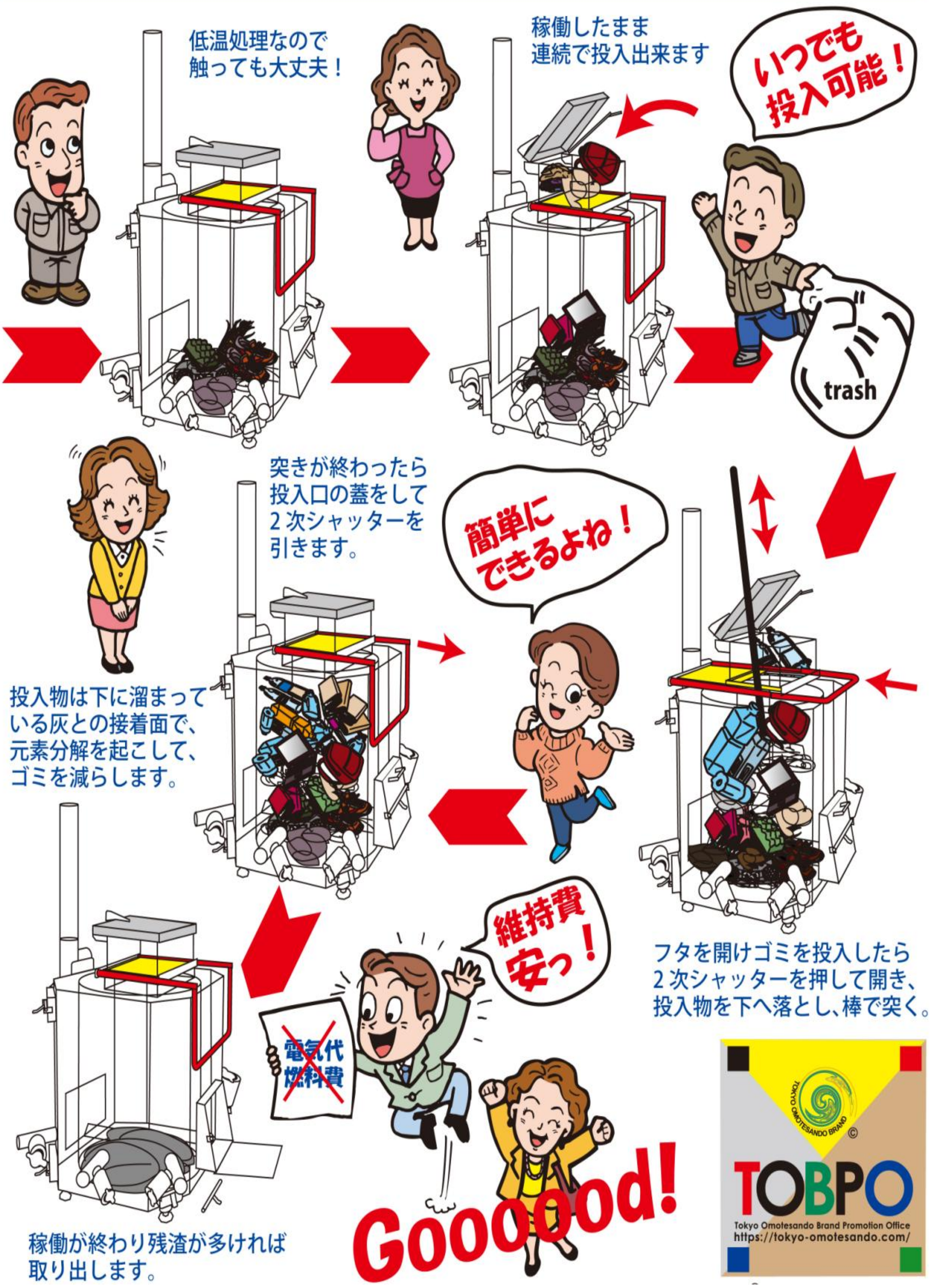
これからのゴミ処理、一部では既に始まっています

第４の方法として以下があります。

- **有機物ゴミを燃やすのではなく、磁気の力で元素まで分解し、ほとんど無くす。**
- **有機物ゴミの残渣は 1/300 ～ 1/500 になり、非常に少なくなります。**
- **Co2 やダイオキシンはほとんど出ない。**
- **装置を稼働するために燃料や電力が必要なく、とてもエコでコスト安すです。**
- **装置は電力、燃料が必要ないので、高山でも島でも何処へでも置いて稼働可能。**

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

おすすめする有機物ゴミ処理方法



Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

磁気熱分解装置の海抜高度実験

高度（海抜-m）	空気濃度	酸素濃度	稼働テスト済
5000	50%	11.13%	済
4000	60%	12.63%	済
3000	68%	14.23%	済
2000	78%	16.30%	済
1000	88%	18.40%	済
500	94%	19.70%	済
0	100%	21%	済

消防研究所のデーターによると、燃焼は酸素濃度16%で急速に衰え、15%で完全に消失します。
酸素濃度が16%以上でも、不完全燃焼により黒鉛など有毒ガスが発生します。
そのため、排気ガスを再燃焼をしなければならない、そのため多量の燃料を使用し、多額な費用と多量の炭酸ガスを排出します。
高地では酸素量が少なく、ゴミは焼却不可能でヘリコプター等でゴミを低地まで運ぶ方法しかなく、燃料代の他、多額の費用が必要です。
当社のシステムを導入する事により、Co2やダイオキシンの排出問題も含め、全て解決します。

参考資料

磁気熱分解装置W-MTDはダイオキシン類対策特別措置法の特定施設や、煤煙発生施設に該当しないため、排出ガスに対し基準は設けられませんが、参考として同法上の廃棄物焼却炉（規模の小さい焼却炉）における排出基準を下表に示します。参考として 当社磁気熱分解装置W-MTDの排出ガス等の測定値を表示しました。

廃棄物焼却炉の排出基準

特定施設（ばい煙発生施設）	項目	単位	排出基準	当社データー
＊1（火床面積が0.5m2以上又は処理能力が50kg／h以上） ＊2（火床面積が2m2以上又は処理能力が200kg／h以上）	排ガス中ダイオキシン濃度	ng-TEQ/m3	5	0.061～0.27
	ダスト濃度	g/m3	0.15	0.0049
	硫黄酸化	ppm	0.11	0.001

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

	物濃度			
	硫黄酸化物量	m3/h	0.16	0.00034
	窒素酸化物濃度	ppm	250	77
	塩化水素濃度	mg/m3	700	34
	処理残渣中ダイオキシン濃度	ng-TEQ/m3	3	0.043～0.19
	平成２６年１月２７日測定			

当社、磁気熱分解装置（W-MTD）は焼却炉とは根本的に処理理論が違います。排気温度も極端に低温で 100℃以下であり、更に排気ガス量も 900L 仕様でさえも 60m3/h です。故に環境省が定めている焼却炉の理論は成立しません。排出ガス中の有害物質量も極端に少なく又、処理後の残渣量も焼却炉 1/10 に対し 1/300～1/500 の量です。焼却炉灰は 2 次処理溶融しても減少率は 1/15 程度であるから磁気熱分解装置は溶融より遥かに残渣の量 が少ないだけでなく、残渣中の有害物質も極端に少なく焼却炉では達成不可能な 高性能さを発揮しています。

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

350L仕様書

項　目(1)	項　目(2)	内　　　容	備　　　　考
製品名	350㍑	W-MTD	
製品容量	実質容量	328㍑	
製品素材		鉄およびステンレス	
製品形状	外観	箱型	八角形
製品形状	窯	円筒形	二重窯
製品重量		≒950kg	
製品寸法	外形寸法	高さ:1,330mm、幅:1,265mm	
製品色		基本グリーン色、色変え出来ます。	
床面積		0.373㎡	
磁気ノズル		マグネット(磁気ノズル7個)	
使用動力		なし	電気、燃料不要(稼動時のみ着火を要する)
処理量		350㍑／5～6時間で処理	処理物による
処理物		廃プラ、紙おむつなど有機物、生ゴミなど無選別可	
処理方法		量子論に基づく有機物消滅	
排気方法		屋外排気筒による排気	別途排煙処理装置あります
残渣量		1／300～1／500	
残渣処理		産業廃棄物として処理	
必要酸素濃度		10%程度	
炉内窯温度		≒60℃～≒150℃程度	二重窯
外壁温度		外気温＋≒30℃程度	
排煙温度		≒80℃以下	
設置場所		屋外(但し、屋根付き)、海抜2,000m可	
磁気補助管	炉内	炉内中央長さ600mm	
＊装置の仕様は予告なく変わる場合がありますので、ご了承ください。			

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

600L仕様書

項　目(1)	項　目(2)	内　　　容	備　　　考
製品名	600㍑	W-MTD	
製品容量	実質容量	580㍑	
製品素材		鉄およびステンレス	
製品形状	外観	箱型	八角形
製品形状	窯	円筒形	二重窯
製品重量		≒1425kg	
製品寸法	外形寸法	高さ:1,610 mm、幅:1,290 mm	
製品色		基本グリーン色、色変え出来ます	
床面積		1.350 ㎡	
磁気ノズル		マグネット(磁気ノズル7個)	
使用動力		なし	電気、燃料不要(初期稼動時のみ着火を要する)
処理量		580㍑／5～6時間で処理	処理物による
処理物		廃プラ、紙おむつなど有機物、生ゴミなど無選別可	
処理方法		量子論に基づく有機物消滅	
排気方法		屋外排気筒による排気	別途排煙処理装置あります
残渣量		1／300～1／500	
残渣処理		産業廃棄物として処理	
必要酸素濃度		10%程度	
炉内窯温度		≒60℃～≒150℃程度	二重窯
外壁温度		外気温＋≒30℃程度	
排煙温度		80℃以下	
設置場所		屋外(但し、屋根付き)、海抜2,000m可	
磁気補助管	炉内	炉内中央長さ≒1,200mm	
＊装置の仕様は予告なく変わる場合がありますので、ご了承ください。			

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

1,300L仕様書

項　目(1)	項　目(2)	内　　　　容	備　　　　考
製品名	1,300ﾘｯﾄﾙ	W-MTD	
製品容量	実質容量	1,300ﾘｯﾄﾙ	
製品素材		鉄およびステンレス	
製品形状	外観	箱型	八角形
製品形状	窯	円筒形	二重窯
製品重量		≒1,800kg	
製品寸法	外形寸法	高さ:1,946 mm、幅:1,950 mm	
製品色		基本グリーン色、色変え出来ます	
床面積		㎡	
磁気ノズル		マグネット(磁気ノズル8個)	
使用動力		なし	電気、燃料不要(初期稼動時のみ着火を要する)
処理量		1,300ﾘｯﾄﾙ／5～6時間で処理	処理物による
処理物		廃プラ、紙おむつなど有機物、生ゴミなど無選別可	
処理方法		磁気熱発生理論	
排気方法		屋外排気筒による排気	別途排煙処理装置あります
残渣量		1／300～1／500	
残渣処理		産業廃棄物として処理	
必要酸素濃度		10%程度	
炉内窯温度		≒60℃～≒150℃程度	二重窯
外壁温度		外気温＋≒30℃程度	
排煙温度		80℃以下	
設置場所		屋外(但し、屋根付き)、海抜5,000m可	
磁気補助管	炉内	炉内中央長さ≒1,460 mm	
＊装置の仕様は予告なく変わる場合がありますので、ご了承ください。			

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

残渣について

装置が稼働し、有機物のゴミを処理し、処理を終えると残渣（灰）が残りますが、どのような有機物を処理しても、残渣は殆ど同じ状態の残渣（灰）になります。
焼却炉の灰とは違って、乾いてサラサラで、少し重い感じがします。残渣を保管する場合、暖かい間は金属の缶に蓋をして保存してください。
残渣は磁気を帯びて熱があり、稼働している状態なので、プラスチックや木の入れ物では空気中の酸素と反応し、燃えてしまいますのでダメです。ただ、残渣（灰）に水をかければ反応しなくなるので大丈夫です。
残渣（灰）は装置でゴミを処理する時に投入口からゴミの上に撒くと、ゴミの処理時間がより早くなります。通期口にはタールが付着し、煙突にはススが付着しますが、ふき取って装置の中へ入れて、ゴミと一緒に処理してください。また、装置内のタールは炉内のサビ止めになりますので、取らないでください。

処理中のゴミの状態

どのような処理物（ゴミ）でも処理途中は右のようになっています。
これは燃えている焼却炉とは違い、磁気熱での原子分解なので、焼却炉なら最初に燃えてしまう新聞のような紙もプラスチックも同じような状態で混ざって分解されています。

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

処理物の種類

一般家庭ごみ・家電・廃プラ・オムツ・樹木・など

残渣（灰）の状態

殆どのゴミはこの状態になります。家電の金属などは灰の下に残っていますから、ふるいにかけて選別してください。

塗料の固まったもの

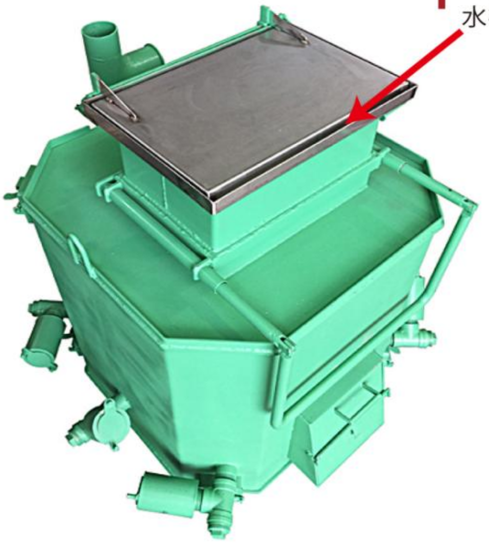
塗料の固まったものは固まったままで灰になります。握り潰すと砕けます。

牡蛎の殻もこのように固まったまま灰になりますが、握りつぶすと砕けます。

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

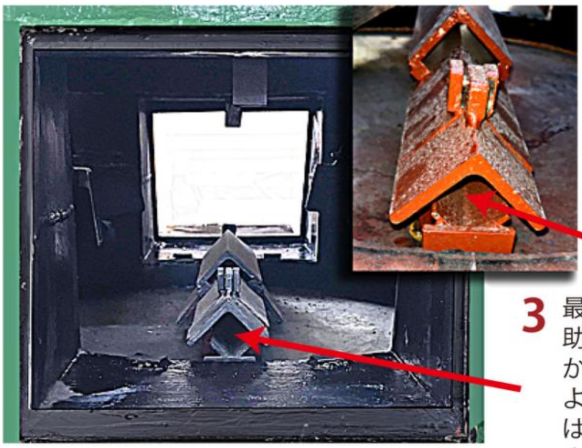
磁気熱分解装置 W-MTD のメンテナンスについて

毎日の稼動前の点検

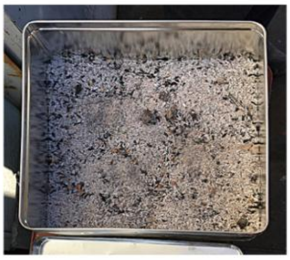


1 上蓋の周りの溝に水を入れる。

2 灰出し口の蓋の周りと近辺にゴミが挟まって無いかを点検し、あったら蓋がスムーズに閉まるようにキレイにする。



3 最初に点火する前に磁気補助管の中に灰や異物が無いか細い棒を反対側へも出るように入れ、点検する。灰は磁気補助管の上にはかぶさらない様にする。



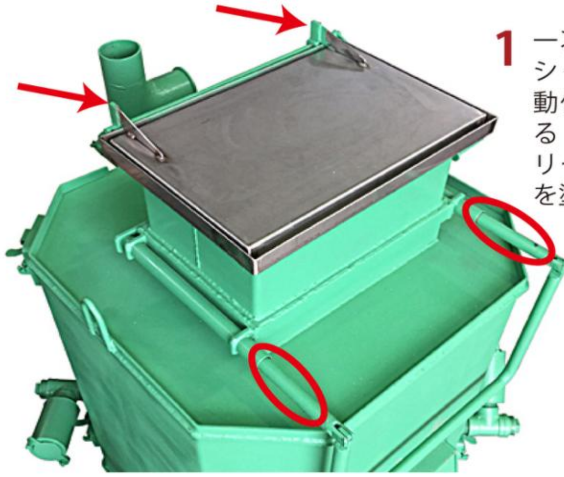
4 灰が 20cm ほど溜まったら 5cm になるように取り出す。取り出した灰はペール缶のような金属製など蓋のある入れ物に入れ蓋をして保管する。

5 樹木など植物を多く稼動させると木酢液などが通気口などから出ますので、空き缶などに溜めて、ぼろ布に染み込ませてゴミと一緒に処分する。

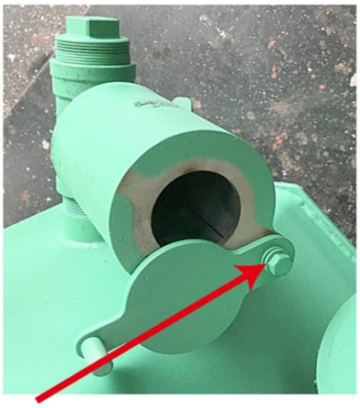
6 雨などが降ってきたら、磁気ノズルを雨が入らないように下に向ける。

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

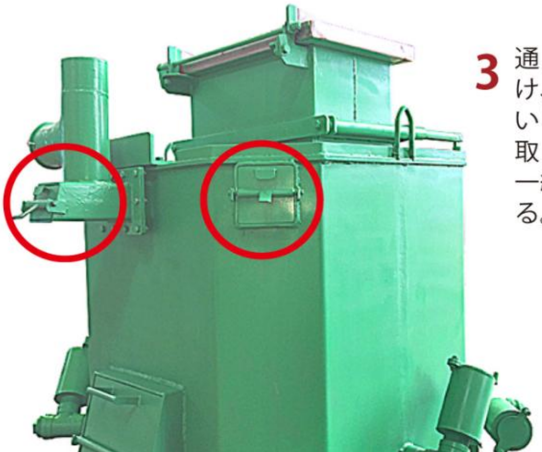
1週間に一度の点検



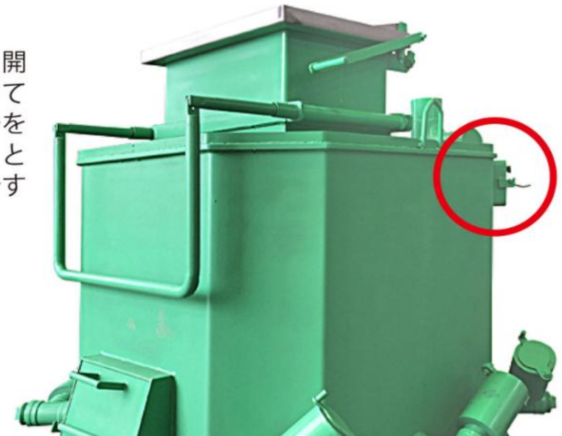
1 一次蓋や二次シャッターの動作を軽くするためにグリースか油をを塗る。

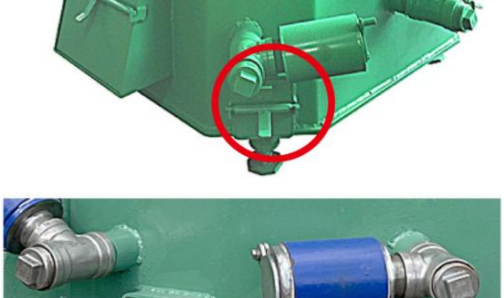


2 磁気ノズルの蓋がスムーズに稼動するかどうかを見て、硬いようならグリースか油を塗る。

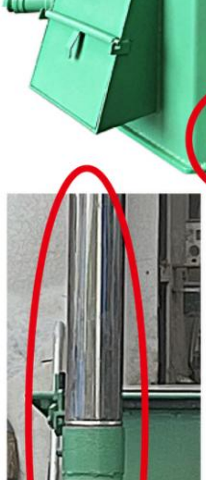


3 通気口を開け、溜まっているタールを取り、ゴミと一緒に処分する。





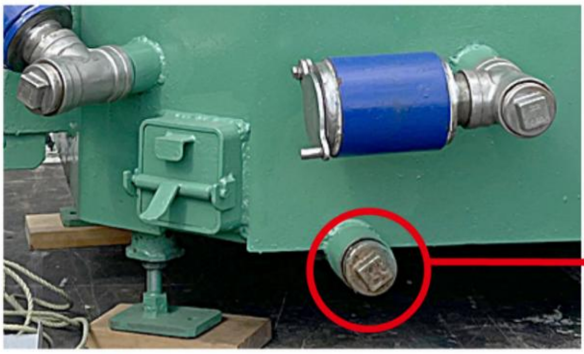
4 水抜きの栓を開けて、水などの水分を出す。水が溜まっていない場合もある。

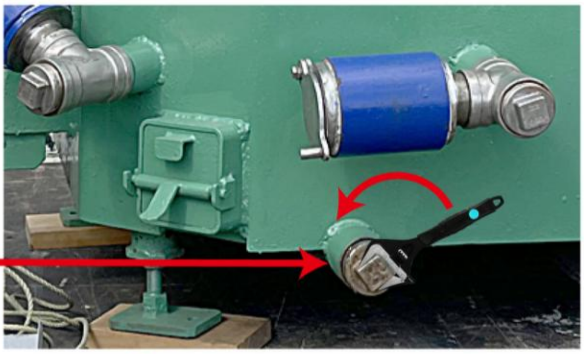


5 煙突の中のススを掃除する。

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

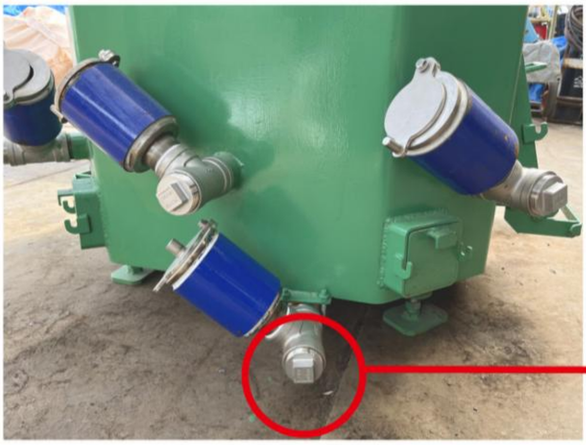
洪水や大雨などで磁気ノズルが水に浸かった場合

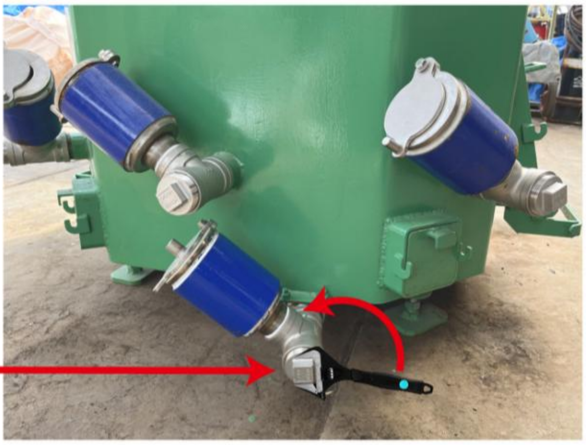




1 水抜きの栓を開けて、水などの水分を出す。浸水していなければ水は出てきません。

2 図のようにモンキーレンチで反時計回りに回して蓋を外す。この穴は装置内まで貫通しています。異物が詰まっていたら取除いてください。





3 7 本の磁気ノズルがありますが、装置の一番下に付いている磁気ノズルの掃除をしてください。

4 図のようにモンキーレンチで反時計回りに回して蓋を外し、パイプの中に異物が詰まっていたら取除いてください。

5 上記、2 つ共パイプの掃除が終わって、装置内が濡れていたら、残渣取出し口を開けて乾かしてください。

6 他の磁気ノズルは装置内までのパイプが短いため、取外す必要は無く、空気吸入調節フタを開けて乾かしてください。

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

磁気熱分解装置「Q & A」

Q：装置が「ブシュ！」と音をたて、中の排ガスの一部が装置の中から磁気ノズルを通して瞬間的に出てくる現象がありますがこれは大丈夫でしょうか？

A：これはプラスチックが分厚く、なおかつ蓋がしてある容器は、容器が磁気分解する時間より、中の空気が膨張する時間の方が短いため装置内で破裂するからです。また、装置の中に酸素が多くなっても、この現象が見られます。
この現象が起きても装置には何ら問題は無く、そのまま稼働させ続けて頂ければ大丈夫です。
稼働時は1次蓋、2次シャッターはしっかり閉め、灰取出し口の横棒ロックは必ず閉めてください。

Q：この装置は電気で稼働するのでしょうか？

A：この装置は燃料や電気は必要ありません。非常に稼働コストが安価です。最初の稼働時のみガソリン30%＋灯油70%の混合油を50ccほど使うだけです(環境条件によります)。

Q：装置へ投入するゴミの分別はどうすれば良いでしょうか？

A：この装置は焼却炉ではなくゴミを元素にまで分解してしまいますので、有機物なら何でも混ぜて入れても良いです。例えばプラスチックならば水素、酸素、炭素などに分解されてしまいます。そのようなので残渣が極端に少なくなってしまいます。注意点は水分のみです。滴り落ちるような水分は少なくなるまで待って入れてください。

Q：最初に装置の中にゴミを投入したら、そのまま無くなるまで待っていれば良いのでしょうか？

A：いいえ、すべてが無くなる前に追加投入ができます。稼働前、１次蓋、２次シャッターを開けて、装置一杯にゴミを入れ、上から付属の鉄棒で突いてください。
下にある灰にゴミが接着するようにしてください。
ゴミは灰との接地面で分解します。稼働するときは１次蓋、２次シャッターを完全に閉めてください。１～２時間ほどしたら、１次蓋、２次シャッターを開け、投入し、棒で手早く突いてください。 灰排出口が開いているときは、一次蓋と二次シャッターを絶対に開けないでください。

Q：稼働中は何もしないで良いのでしょうか？

A：投入したゴミの種類によりますが、１～２時間過ぎたら１次蓋、２次シャッターを開け、素早く付属の鉄棒で上から突いてください。その時少なくなっていれば装置一杯にゴミを入れ、また、素早く付属の鉄棒で上から突いて、直ぐに１次蓋、２次シャッターを完全に閉めてください。これの繰返しです。

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

Q：油の付いた漁網や農業資材も処分できますか？

A：はい、大丈夫です。投入口から入る大きさに丸めるか切るかで投入してください。砂浜の重油が付いた海藻やペットボトルなども分解します。.

Q：建築廃棄物で釘が混ざったものでも大丈夫ですか？

A：はい、大丈夫です。分解は有機物だけですが、ガラス、金属、砂、石などが混ざっていても下に残る残渣の中に落ちてくるので、ふるいにかけて取ってください。
プラスチックなどで出来たパソコンや家電製品、タイヤなども投入していただければ、金属部分やガラス部分は下に落ちてきます。電線の銅を取出すのも簡単です。
畳なども装置に入る大きさに切って入れれば大丈夫です。

Q：医療ゴミなんかは大丈夫ですか？

A：大丈夫です。カテーテルやオムツなど簡単に分解出来ます。オムツなどは一般焼却炉で処分すれば周囲の炉内に残渣が付着し、掃除が大変です。また、炉の寿命も短くなります。分解装置ではオムツでも何でもサラサラの残渣になるだけです。

Q：残渣（灰）はどうすれば良いでしょうか？

A：残渣は焼却炉で燃やしたように多くは無く、極端に少ないため、鉢植えに撒いてもらっても良いです。リン、カルシウム、窒素などが含まれているため肥料に適しています。
一番良い方法は溜めておいて装置にゴミを入れるとき一緒に混ぜて入れれば磁気反応がとても良いです。残渣（灰）は装置の中を見て高さ装置内に20cm以上積もったなら5cmほど残して取出してください。
ペール缶など燃えない入れ物に入れてください。外に出しても磁気反応があるため燃えやすいものの中に入れたり置いたりすれば磁気反応と外の空気とで燃え上がりますので気を付けてください。完全に磁気反応を抑えるには水をかけてください。
Q：この装置の保証期間は何年ですか？

A：2年です。最初に作られた装置は18年ぐらい前ですが、故障もなく現在も稼働し続けています。

Q：稼働しているときは装置の外側に触ると火傷をしますか？

A：外気温＋30℃ぐらいですが、稼働が強くなると、多少熱くなりますので磁気ノズルを少し塞いで（2㎜～3㎜開ける）頂ければ温度は下がります。外側に塗ってあるペンキも剥げません。

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.

Q：医療ゴミについて

A：カテーテルやオムツなど簡単に分解出来ます。オムツなどは一般焼却炉で処分すれば周囲の炉内に付いて掃除が大変です。また、炉の寿命も短くなります。W-MTD 分解装置ではオムツでも何でもサラサラの残渣になるだけです。また、病院の細菌性のゴミは密封された容器のまま投入してください。容器の中から出してバラバラにしないでください。煙突は 4m～5m ぐらいと高くしてください。
病院内の敷地で稼働させる場合は、W-MTD に排ガス処理装置をつけ装置の水槽内へ家庭用粉石鹸 100ｇと次亜塩素酸ナトリウム液を 100cc 入れて稼働させてください。

Q:メンテナンスはどこを見れば良いのでしょうか？

A:メンテナンスは別途用意してありますので、ご覧ください。

Copyright© T.O.B.P.O. All Rights Reserved.